

「みんなにとって便利な公共交通」を目指して

デマンドバスを導入します

昨年6月に実施した「公共交通に関する住民アンケート」をもとに検討を重ねた結果、近年多くの自治体で導入されているデマンドバスを導入し、移動のニーズに応える公共交通の実現を目指すことになりました。

▼問合せ 企画課地域振興係 ☎24-5111(内線141)

運行は1月15日開始

村では、「永井線」「中野生越循環線」「赤谷桜循環線」の3路線のバスにおいて、日中運行している便に替えてワゴンタイプの車両2台によるデマンド運行の導入を決定し、令和5年1月15日(日)の運行開始に向けて、現在準備を進めています。

導入の背景

昨年の6月に実施した村民アンケートから、路線バスの利用について、「バス停が近くにない」「利用時間が合わない」「目的地に行けない」といった日中の移動ニーズと運行サービスのアンマッチが見えてきました。そこで、村では今年5月に行

政や事業者、利用者の皆さんが参画し、村の公共交通について話し合う「昭和村地域公共交通会議」を設立し、日中の利用者のニーズに適した公共交通としてデマンドバスの導入について検討を進めてきました。

デマンドバスの特徴

移動ニーズに対して適した公共交通は様々で、通学や通勤など、決まった時間・場所へ移動する場合は電車や路線バスが適しており、買い物や通院など時間や場所が不定期な場合は予約して利用するタクシーが適しています。

デマンドバスは路線バスとタクシーの中間的な公共交通で、利用に事前予約が必要であった

便利な公共交通を目指して

現在、村で運行している路線バスは、朝夕の時間帯は学生の通学に、日中の時間帯は高齢者などが通院や買い物などに、それぞれ利用しています。

そのため、今後は学生の皆さんの通学手段として路線バスの始発便と最終便の運行を続け、高齢者や免許未取得者の方の移動手段として、日中はデマンドバスを運行します。

このように村民の皆さんの利用状況に適した効率的な運行により「みんなにとって便利な公共交通」の実現を目指します。

公共交通を維持するために

全ての人が利用できる移動手段が公共交通です。

現在、村では、関越交通株式会社に依頼し路線バス運行していますが、利用者の減少が進むと公費負担による路線バスの維持が難しくなります。

そこで、デマンド運行に合わせA-予約システムを導入し、リアルタイムの予約状況や運行情報を蓄積し学習していくことで効率的な運行を行えるようになります。

村が導入するデマンドバス

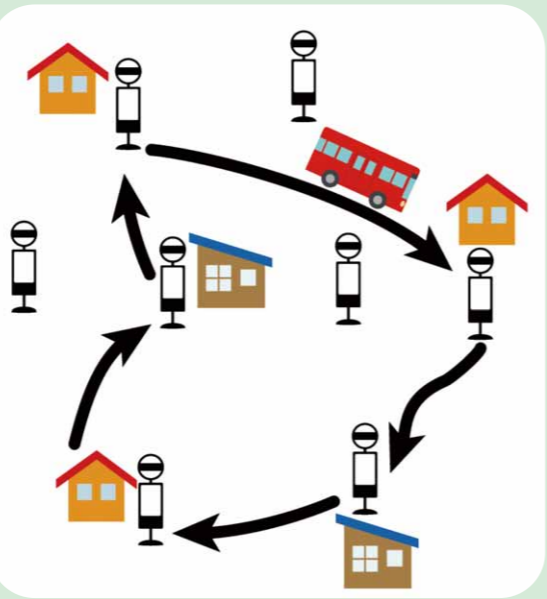
国のデジタル田園都市国家構想推進交付金により、AIデマンド配車予約システムを活用したデマンドバスの運行を導入します。

- ◆令和5年1月15日(日)から運行開始予定
- ◆運行時間は日中午前9時から午後5時まで
- ◆運賃は大人400円、小学生以下200円
- ◆交通系ICカードで支払いが可能
- ◆利用には1週間前から1時間前までの予約が必要
- ◆予約方法は電話またはスマホアプリから
- ◆予め設置された乗降ポイント間を運行
- ◆従来の路線にとられない村内全域の移動が可能に
- ◆既存のバス停のほか、新たに乗降ポイントを設置し、より身近により利用しやすく
- ◆村内乗降ポイントは運行開始後、一定の条件のもと申請により増設可能
- ◆沼田市内へは、従来の路線バスと同じ停留所(片側)にアクセスが可能
- ◆13人乗り(※運転手除く)のワゴンタイプ車両2台を新たにデマンドバスとして導入
- ◆運行開始後、日中の路線バスは運行しません(ただし臨時運行する場合があります)
- ◆運行は、路線バスと併せて関越交通株式会社に依頼

デマンドバス



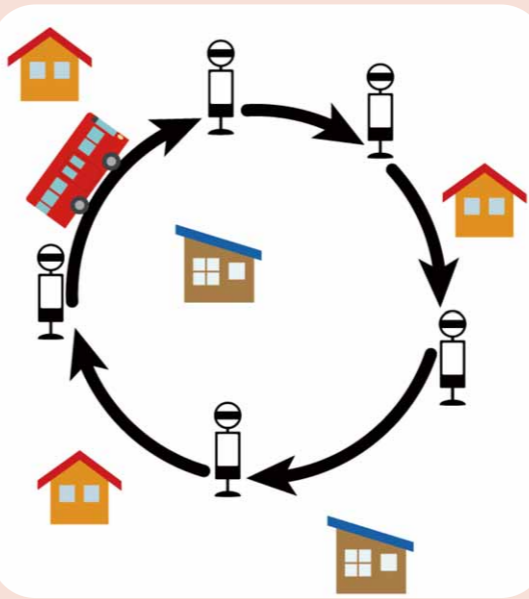
路線にこだわらず停留所を設置できる
予約しないとバスが来ない
予約状況に応じて運行時間及びルートを決定
予約がなければ運行しない



路線バス



決められた時間に決められたルートを運行
予約は不要、バス停にいればバスがくる
時間及びルートの変更は難しい
利用者がいなくても運行する



り、ある程度の時間や場所の制約はありますが、利用時間や目的地を選択することができ、乗合運行することで比較的安価な料金で利用できます。

